

三小タイムズ

令和2年7月27日発行 校長 辻 久恵

道徳科授業（3年3組）

主題名 きまりのいみ

教材名 きまりのない国 出典 光村図書

内容項目 C規則の尊重

本時のねらい

きまりのない国へ行ったときのけんたの考えを通して、きまりがあることによさと同時に時と場によってはきまりを守りたくないと思う気持ちも出てくることに気付かせ、それでもきまりを守ろうとする実践意欲と態度を育てる。

学習の展開

○「きまりがなかったらいいな」と思ったのはどんな時か発表する。

- ・「きまりがなかったらいいな」と思ったのはどんな時ですか。
- ・きまりはないほうがいいですか。それはなぜですか。

※きまりがあったほうがいいはずなのに「なければいいのに」と思うことがあるのはなぜか考えよう。両方あるのはなぜ？

○「きまりがない国」を読んで話し合う。

- ・けんたはどうして「ああ、きまりがない国ってないのかな」と言ったのでしょうか。
- ・「きまりがない国」というのはどんな国だったでしょう。
- ・「やっぱり元の国に戻りたいな」と言ったけんたはどんなことを考えていたでしょう。

☆事故にあいそう。☆危ない。☆押されて遊園地に入れない。

- ・きまりはあったほうがいいのに「ないといいな」と思う時があるのは、なぜでしょう。

○自分の生活を振り返る。

- ・これから「このきまりがなかったらいいのにな」と思った時どんなことが大切でしょう。今日の授業を振り返って書きましょう。

